

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

1 次の(1)・(2)の文及び文章は、学校保健安全法の条文です。文中及び文章中の(ア)～(ケ)に当てはまる言葉は何ですか。それぞれ書きなさい。なお、同じ記号には、同じ言葉が入ります。

(1) 学校においては、児童生徒等の(ア)の確保を図るため、当該学校の施設及び設備の(イ)、児童生徒等に対する(ウ)を含めた学校生活その他の日常生活における(ア)に関する指導、(エ)その他学校における(ア)に関する事項について(オ)を策定し、これを実施しなければならない。

〈学校保健安全法第27条〉

(2) 学校においては、児童生徒等の(ア)の確保を図るため、当該学校の実情に応じて、(カ)において当該学校の職員がとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた対処要領(次項において「(カ)対処要領」という。)を作成するものとする。

2 校長は、(カ)対処要領の職員に対する周知、訓練の実施その他の(カ)において職員が適切に対処するために必要な措置を講ずるものとする。

3 学校においては、事故等により児童生徒等に(キ)が生じた場合において、当該児童生徒等及び当該事故等により(ク)その他の(ケ)に対する影響を受けた児童生徒等その他の関係者の(ケ)を回復させるため、これらの者に対して必要な支援を行うものとする。この場合においては、第十条の規定を準用する。

〈学校保健安全法第29条〉

2 児童生徒等の健康診断について、あとの1・2に答えなさい。

1 学校保健安全法施行規則第6条第1項に、健康診断における検査の項目として11項目が示されており、次の一～十一は、その検査項目を示したものです。(ア)～(キ)に当てはまる語は何ですか。それぞれ書きなさい。

- 一 (ア) 及び体重
- 二 (イ) 状態
- 三 脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態
- 四 視力及び(ウ)
- 五 (エ) の疾病及び異常の有無
- 六 耳鼻咽喉頭疾患及び(オ)の有無
- 七 歯及び口腔の疾病及び異常の有無
- 八 (カ) の有無
- 九 心臓の疾病及び異常の有無
- 十 (キ)
- 十一 その他の疾病及び異常の有無

5 養護 問題用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

2 次の i～iv の文及び文章は、文部科学省が作成した「四肢の検査のポイント」のうち、学校での健康診断について示したものです。文中及び文章中の (ア)～(オ) に当てはまる言葉は何ですか。それぞれ書きなさい。なお、同じ記号には、同じ言葉が入ります。

- i. 学校医は、全ての児童生徒に対し、まず (ア) を行います。児童生徒がこちらに歩いてくるときの歩き方に (イ) がないか、どこか痛がっている素振りがないかに注意を払います。もしこの (ア) で異常を認めた場合には、(ウ) に記入がなくても問診、身体診察を行いましょ。
- ii. (ウ) に記載のある項目については、普段学校で勉強したり運動したりする上で支障がないかなどの観点から、必要に応じてさらなる問診や身体診察を行います。学校の健康診断では、専門的な診断をつけることまでは求められていません。※状況に応じて全員に身体診察を行っても構いません。
- iii. 学校生活に支障があるような状態が疑われると判断された場合には、事後措置として (エ) を勧めます。
- iv. 学校生活への支障が明らかでなくとも、身体が固い等の指摘があれば、事後措置として日常生活上の注意事項を伝えます。また、検査の結果により、身体を動かすことの重要性について指導したり、反対に過剰な運動に注意をする等、(オ) に役立てましょ。

3 平成 30 年 3 月告示の高等学校学習指導要領 保健体育 保健 内容 (1) ア には、「現代社会と健康について理解を深めること。」として 5 つの事項が示されています。どのような事項が示されていますか。5 つ全て書きなさい。

4 次の図は、右耳の構造を模式的に示したものです。図中の (ア)～(キ) は、何とといいますか。その名称をそれぞれ書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

5 てんかん発作の既往のある小学校第6学年の児童が、体育館での集会時に、突然倒れてけいれんしていると学級担任を通じて養護教諭に連絡があり、体育館に駆け付けました。駆け付けたときにはけいれんは止まっていますが、口から泡を吹きぐったりしています。養護教諭として、この児童にどのような対応が必要ですか。簡潔に4つ書きなさい。

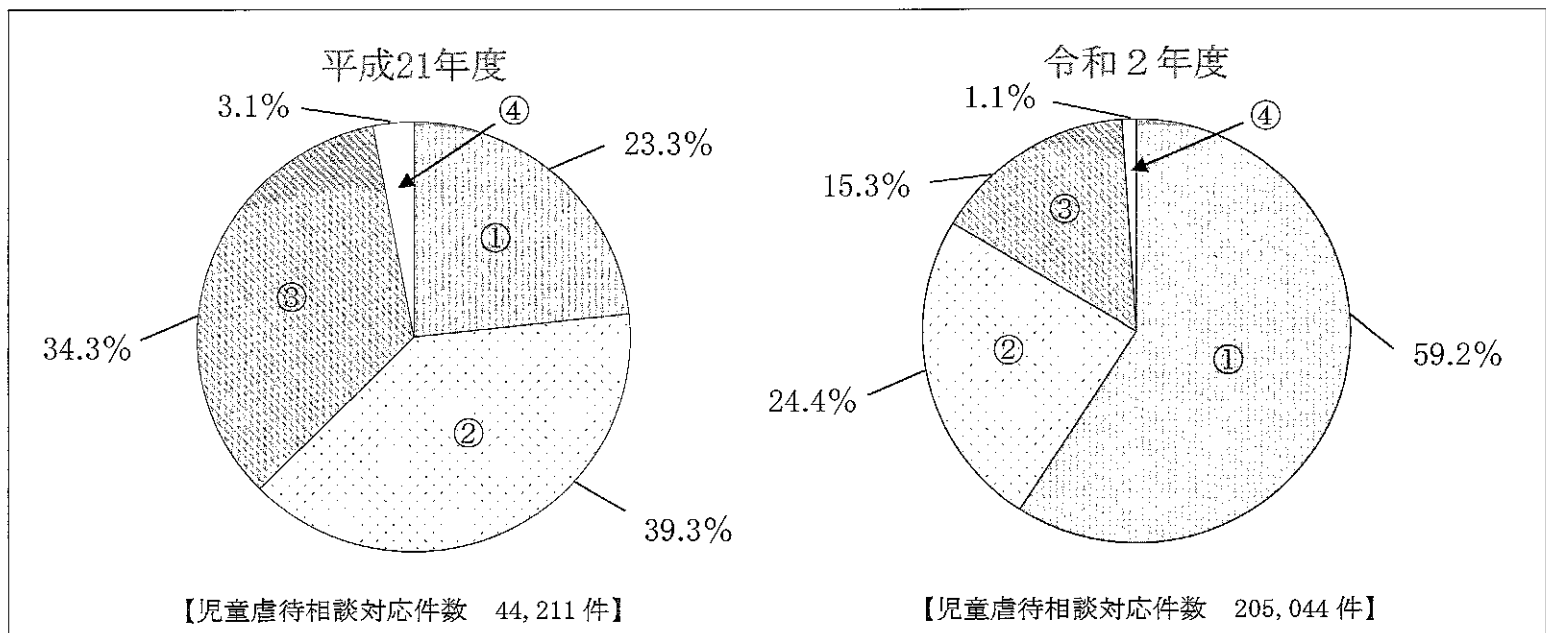
6 学校における保健指導について、次の1・2に答えなさい。

1 「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引—令和3年度改訂—」には、保健指導の主な対象者が具体的に5つ示されています。どのような者が対象になりますか。簡潔に3つ書きなさい。

2 「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引—令和3年度改訂—」には、個別の保健指導の目的について、「個々の児童生徒の心身の健康課題の解決に向けて、自分の健康課題に気付き、理解と関心を深め、自ら積極的に解決していこうとする自主的・実践的な態度の育成を図る」と示されています。「起立性調節障害」と診断されている生徒が頭痛、めまいを訴えて保健室へ来室した際、養護教諭として、どのような保健指導を行いますか。個別の保健指導の目的を踏まえ、具体的に2つ書きなさい。

7 児童虐待について、次の1・2に答えなさい。

1 次のグラフは、平成21年度と令和2年度における児童虐待相談対応件数（厚生労働省）の内容別の割合を示したものです。グラフ中の①～④に当てはまる語は何ですか。下の(ア)～(エ)の中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。なお、同じ番号には、同じ語が入ります。



(ア) 性的虐待

(イ) 身体的虐待

(ウ) 心理的虐待

(エ) ネグレクト

2 児童虐待を早期発見するために、養護教諭として、どのような取組を行いますか。簡潔に3つ書きなさい。

(4枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

8 児童生徒等の保健管理について、次の1～3に答えなさい。

1 児童生徒等の健康観察には、3つの目的があります。どのような目的ですか。簡潔に3つ全て書きなさい。

2 次の資料は、ある中学校の6月1日の学校等欠席者・感染症情報システムにおける健康観察結果を集計したものです。この資料から、どのようなリスクがあると考えられますか。具体的に書きなさい。

学校等欠席者・感染症情報システム

学年	クラス	欠席・出席停止者総数(人)	欠席者の症状(人)													出席停止(人)							学級閉鎖	在籍者数			
			発熱	頭痛	急性呼吸器症状	下痢・腹痛	嘔気・嘔吐	発疹	インフルエンザ様症状	その他	インフルエンザ	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	おたふくかぜ	水ぼうそう	マイコプラズマ感染症	伝染性紅斑	手足口病	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	発熱等による	家族等のかぜ症状等による			新型コロナウイルス濃厚接触者	新型コロナウイルス感染症	その他
1年	1組	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35
1年	2組	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
1年	学年計	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69
2年	1組	9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	32
2年	2組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0	6月01日～6月04日	33
2年	学年計	9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3	0	2	0	0	65
3年	1組	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
3年	2組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
3年	学年計	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73
総合計		12	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	4	0	2	0	0	207

3 新型コロナウイルス感染症について、校長のリーダーシップの下、養護教諭は、専門性を生かして感染症対策を行います。校内で生徒に陽性者が発生した際、養護教諭は、どのような指導や連携を行いますか。全校生徒への指導、学級担任及び学校医との連携について、それぞれ2つ簡潔に書きなさい。

5

養護 解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
1		(ア)	
		(イ)	
		(ウ)	
		(エ)	
		(オ)	
		(カ)	
		(キ)	
		(ク)	
		(ケ)	
2	1	(ア)	
		(イ)	
		(ウ)	
		(エ)	
		(オ)	
	2	(ア)	
		(イ)	
		(ウ)	
		(エ)	
		(オ)	
3			

5

養護 解答用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	解答欄	
4	(ア)	
	(イ)	
	(ウ)	
	(エ)	
	(オ)	
	(カ)	
	(キ)	
5		

5

養護 解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
6	1		
	2		
	7	1	①
②			
③			
④			
2			

5

養護 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄		
8	1			
	2			
	3	全校生徒		
学級担任				
学校医				

高等学校看護科採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	健康に関する事象を当事者の考えや状況、疾病や障害とその治療等が生活に与える影響に着目して捉え、当事者による自我管理を目指して、適切かつ効果的な看護と関連付けることを意味している。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10	
2	① 腎杯		各3×6	
	② 腎盂	腎盤 もよい。		
	③ 腎柱			
	④ 腎錐体	髓質 もよい。		
	⑤ 皮質			
	⑥ 腎乳頭			
	2	① (イ)		各3×6
		② (ア)		
		③ (カ)		
		④ (ウ)		
		⑤ (エ)		
		⑥ (オ)		
	3	ア 腹圧性尿失禁		各3×3
		イ 機能性尿失禁	急迫性尿失禁 もよい。	
		ウ 切迫性尿失禁		
	3	① ビタミンA		各3×6
		② ビタミンD		
		③ ビタミンE		
④ ビタミンB ₁				
⑤ 葉酸				
⑥ ビタミンC				

高等学校看護科採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
4	① 肉体的	身体的 もよい。	各 2 × 4	
	② 精神的			
	③ 社会的			
	④ 疾病			
	2	平均寿命が「あと何年生きられるか」という生存の量のみを問題にするのに対し、健康寿命は「いかに自立して健康に暮らせるか」という生活の質も考慮した指標である。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6
3	① 健康格差		各 2 × 5	
	② 生活習慣病			
	③ 社会生活			
	④ 整備			
	⑤ 口腔			
5	1 ア		3	
	2	① 赤色		各 2 × 2
		② 黄色		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・使い捨てのガウン（エプロン）、マスクと手袋を着用する。 ・処理の前後に手指衛生を十分に行う。 ・ウイルスが飛び散らないように吐物をペーパータオル等で静かに拭き取り、床を次亜塩素酸ナトリウムで消毒後、水拭きをする。 ・吐物が飛散した恐れがある周囲の床及び壁面も吐物の付着した床と同様に次亜塩素酸ナトリウムで消毒後、水拭きをする。 ・拭き取りに使用したペーパータオル等は、ビニール袋に密閉して廃棄する。 ・患者の衣類が汚れている場合は着替えさせ、汚れた衣類はビニール袋に入れた後、適切に処理する。 ・空気の流れに注意しながら、十分に換気を行う。 ・患者の状態を確認し、次の嘔吐に備える。 	5つ書かれていればよい。内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 5	

高等学校看護科採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
6	1	ウ, エ	全部合っているものだけを正答とする。	6
	2	① D		各2×4
		② C		
		③ A		
		④ E		
	3	① 初	順序は問わない。	各3×3
		② 白内障		
		③ 先天性心疾患		
		④ 難聴		
	4	心拍数	順序は問わない。	各3×5
		呼吸		
		筋緊張		
刺激に対する反応				
皮膚色				
7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・下肢の色調（暗赤色）の変化 ・下肢の腫脹 ・下肢の発赤 ・下肢の熱感 ・下肢の疼痛 ・下肢の浮腫 ・ホーマンズ徴候 	3つ書かれていればよい。内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各1×3
	2	<p>看護 腓骨頭部を免荷するとともに、良肢位（外転・回旋中間位）を保持し、患肢が外側に倒れないようにする。</p> <p>理由 Aさんは「足の親指がしびれる。」と訴えていることから腓骨神経麻痺の徴候が出現しているため。</p>	看護と理由がともに合っているものだけを正答とする。内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	7

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点
7	3	視点	理由	4つ書かれていればよい。 視点と理由がともに合っているものだけを正答とする。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 7 × 4
		発達段階の視点として、理解力に応じた話し方、実演や写真、イラスト等が考えられているか。	Aさんは老年期であり、視力、聴力、体力、認知力などが低下する傾向があるため。		
		脱臼予防の視点として、日常生活動作による脱臼予防の内容が含まれているか。	Aさんは自転車で茶道教室に通っていることから、日常生活の中で禁忌肢位となることが多いと考えられるため。		
		再発防止の視点として、患肢だけでなく、両下肢の関節可動域運動と筋力増強運動を継続して行える内容が含まれているか。	Aさんは手術後の安静期間により筋力が低下している。関節組織の回復を促し、再転倒を防ぐためには両下肢の運動訓練の継続が必要であるため。		
		骨粗鬆症予防の視点として、指示された内服薬を継続すること及び骨粗鬆症予防に気付かせる内容が含まれているか。	Aさんは68歳の女性であることから、閉経後の女性ホルモン低下による骨粗鬆症に対して内服薬が処方されることが考えられるため。		
		定期受診の必要性の視点として、退院後も経過観察が必要であること及び外来通院の必要性についての内容が含まれているか。	Aさんは人工骨頭置換術を行っていることから、人工物を挿入したことで感染などのトラブルを生じる可能性があり、定期受診が重要であるため。		
		社会資源の活用の視点として、退院後の支援として介護保険申請の手続きについての内容が含まれているか。	Aさんは68歳であり、要介護認定を受けることができる年齢である。認定により、介護予防や生活支援のためのサービスを受けられるため。		
		家族指導の視点として、指導に家族を参加させることの意義を理解しているか。	Aさんは夫と二人暮らしであり、夫の協力が必要であるため。		